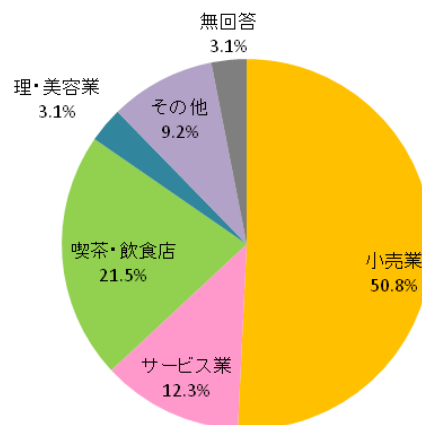


中央1丁目エリア 店舗投資意向調査 調査結果

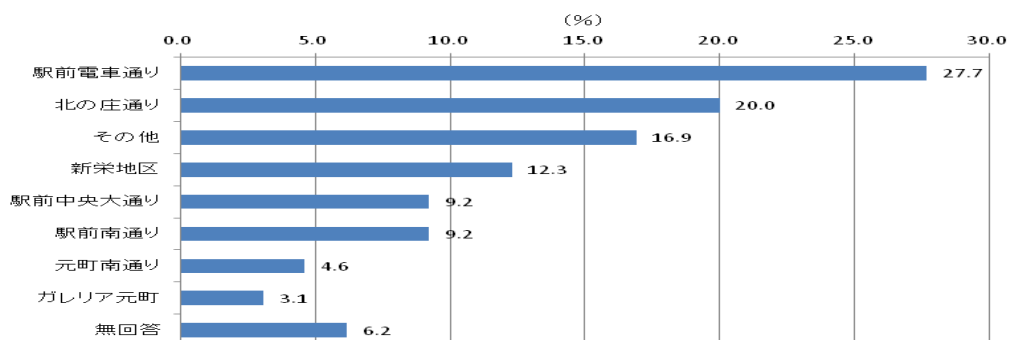
I 調査の概要

- 1 目的 中央1丁目に不動産(土地・建物)を所有する店舗経営者の投資意向を調査し、今後の商業活性化策の参考とする。
- 2 調査対象 中央1丁目エリアに不動産を所有する店舗経営者 142人
- 3 調査方法 直接郵送と自治会からの配布によるアンケート方式
- 4 調査期間 平成25年5月10日(金)～6月10日(月) 31日間
- 5 回答状況 有効回答数 65 回答率 45.8%
- 6 実施主体 まちづくり福井株式会社
- 7 回答店舗属性

業種



立地エリア



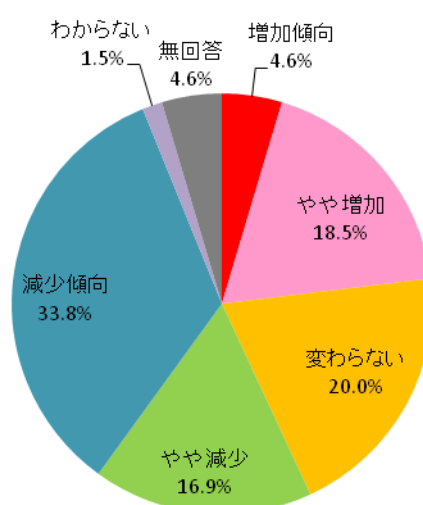
Ⅱ 調査結果

1. 最近の経営状況について

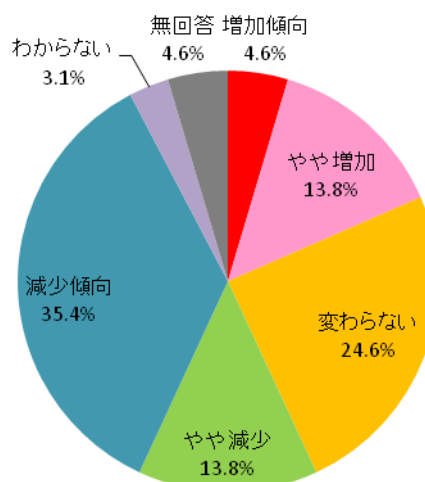
昨年と比較した売上について、多い回答から「減少傾向」(33.8%)、「変わらない」(20.0%)、「やや増加」(18.5%)となった。増加方向の回答は23.1%、逆に減少方向は50.7%あり、半数を超える店舗で昨年比で売上高が減少している。

次に、昨年と比較した利益については、多い回答から「減少傾向」(35.4%)、「変わらない」(24.6%)、「やや増加」と「やや減少」で13.8%となった。増加方向の回答は18.4%、逆に減少方向は49.2%あり、売上高と同様に厳しい状況が窺える。

最近の経営状況
売上(昨年比較)



最近の経営状況
利益(昨年比較)



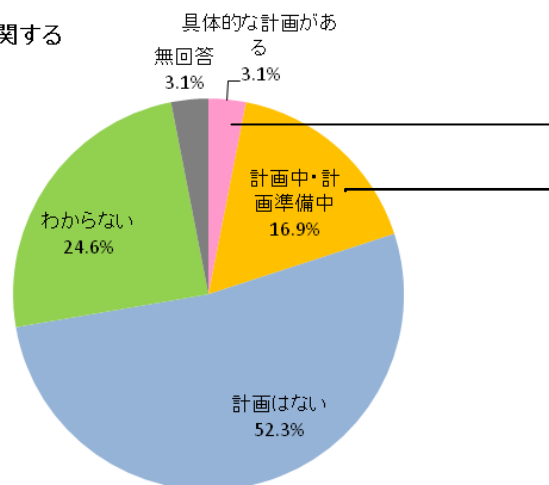
2. 5年以内の店舗投資計画について

今後5年以内の店舗への投資計画については、「具体的な計画がある」(3.1%)と「計画中・計画準備中」(16.9%)を合わせると、全体の2割の店舗で何らかの投資計画を持っているという結果であった。

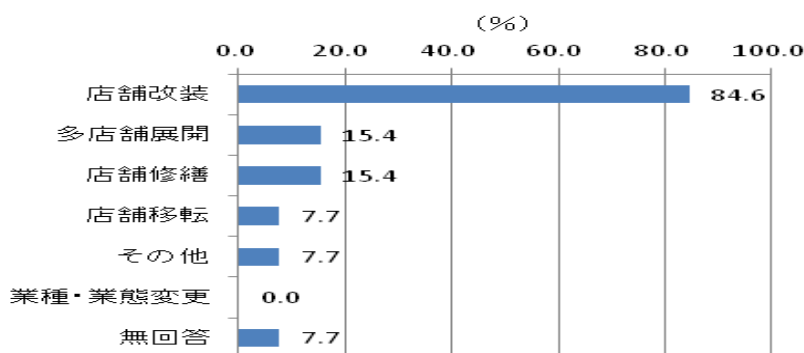
その内容については「店舗改装」(84.6%)が群を抜いて多く、計画の場所は「中心市街地(大手・中央・順化)」(46.2%)が多く、投資の時期は「平成26年」(38.5%)、「平成25年中」(15.4%)の順に多くなっている。

【投資内容・計画の場所・投資時期については複数回答】

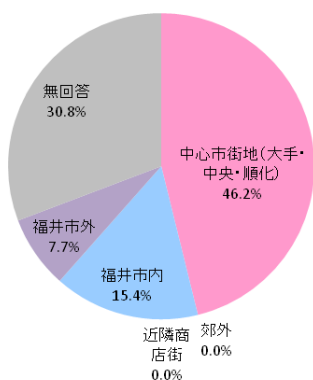
今後5年以内の店舗に関する投資計画



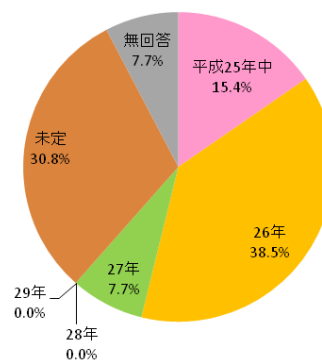
計画の内容



計画の場所

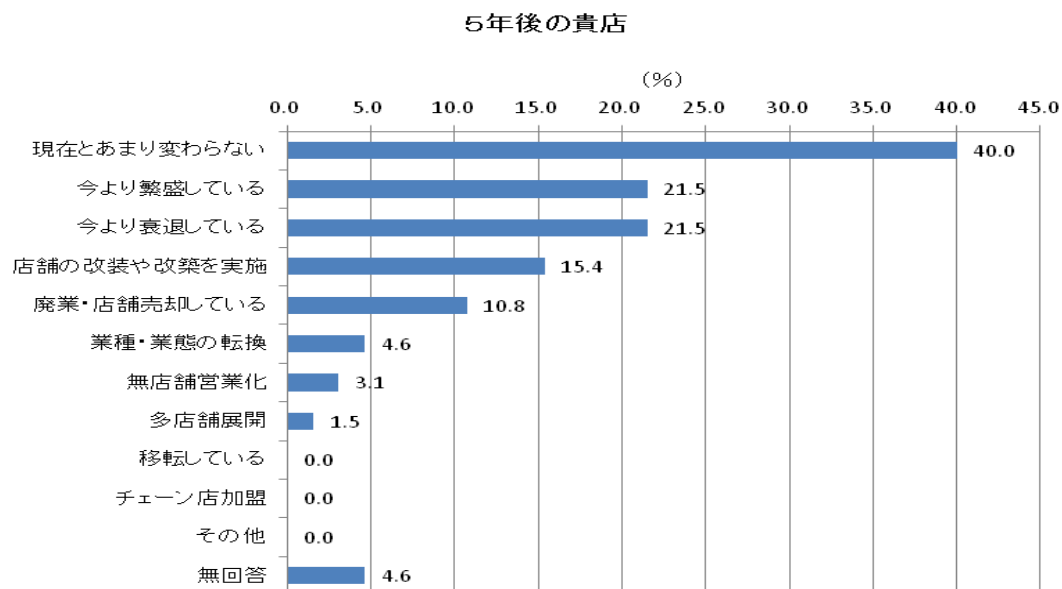


投資はいつ頃か



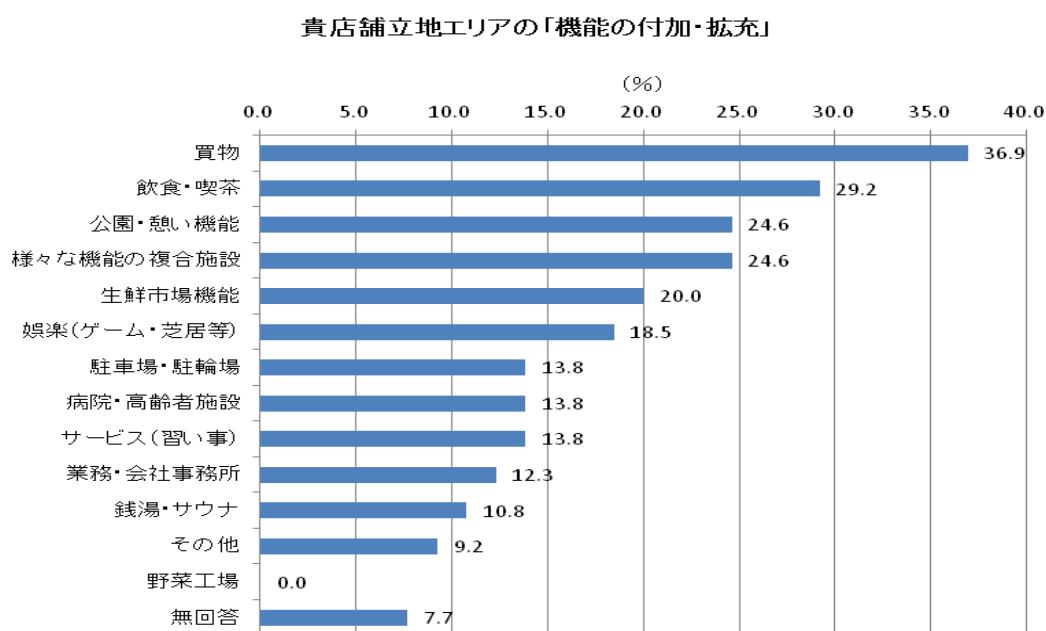
3. 5年後の貴店の状況（2つまで選択）

5年後の貴店はどうなっていると思うか尋ねたところ、「現在とあまり変わらない」が最も多く40.0%、次いで「今より繁盛している」と「今より衰退している」（21.5%）、「店舗の改装や改築を実施」（15.4%）と続いている。一方、「廃業・店舗売却している」という回答も多く、1割を超えている。



4. 立地エリアの「機能の付加・拡充」（3つまで選択）

貴店舗の立地エリアにどのような機能の付加や拡充があればいいと思うか尋ねてみた。多いものから「買物」（36.9%）、「飲食・喫茶」（29.2%）、「娯楽の複合施設」（24.6%）と商業に関する項目が多くなっている。また「公園・憩い機能」（24.6%）という環境面にも高い関心が寄せられている。



5. 後継者について

後継者については、「決まっている」が 33.8%と3店舗に1店の回答割合であった。逆に、「いない」(16.9%)、「いるが継がない」(12.3%)、「迷っている」(10.8%)、「若年なのでまだわからない」(10.8%)、「いるが継がせない」(4.6%)という後継者未定の回答が55.4%と半数を超えている。

後継者について

